

(一)

刊

タ

磐城

日報

社

磐城

十一月量出炭増加

價格も夏場の三百圓高

お間取りは從來通りで六疊半、三疊、合所三疊で一戸當り十五万六千圓の建築費である

平石炭事務所調べによる十常好
一月中の磐城地図各炭礦の間
出炭量は最需要期に入り十
月分より二万四千六百トン
も増加し二十八万九千百七
トンが出炭された、一方送

炭状況はいぜん醜車不足で
二十七万トンを輸送したが
十月分常貨と重なり十万八
千トンが山元および駅頭な
どに溢れている状況である
十一月中の炭礦別出炭量は
四十五百カロリーがトン當
次通りである(単位トン)十圓高となつてゐる

千トントンが山元および駅頭な
どに溢れている状況である
炭千七百五十圓で夏場の炭
價に比し三百圓から三百五
千圓高となつてゐる

ある、また感冒は往々にし
て合併症をきたすので注意
を要するが一般に身体の抵
抗を高めることが肝要であ
るかよつた人ははじめて
マスクをするのも流行さ
れており空氣がよければこ
そりの多い場所での使用は必
要であるが單に保温の目的
でマスクをつけることはの
どを弱めることになり逆に
たちまちかぜをひくといふ
結果になり易い

流行のジフテリヤ

早期診断が大切

師走の訪れのとともに冬型患部にふれるとか、患者の
氣温配置となり、漸く本格飛沫を受けるとか、患者の
的な冬がやつてきたので多使用した器具などを介して
くの人が毎年二度や三度かかるといわれている感冒
子供では四十度の高熱を發生數は平保健所調べによる
することもある扁桃腺炎、肺炎そしてジフテリヤなど
か横行する、ジフテリヤ發生は平保健所調べによる
者には平保健所調べによる
と郡内で一月以降十一月まで五十九名でそのうち七名
で五十九名でそのうち七名
の子供が壓倒的で生後一年
未滿の乳児の患者は見られ
ない、同所防護係では次の
様に警告している、豫防注
しやが最も良いがジフテリ
ヤは細菌が患者の鼻やのど
に附着しているので、直接
間に合わず死亡することが
ある

味料新設
大衆的娯楽には映画、競輪
競馬、ビンゴ、麻雀など數
種ぐ中小企業の資金難が
多くありそれへの特異性
生んだ喜劇「コマ」、茨城
県多賀町の某商店で五名
の雇人に對しナニやカニ
やと理由をつけ、二月間
も給料不拂を續けた、大
ファンガイの五人連樂あれ
ば苦ありと社長の品物を
リレー式に盗むこと三十
九回、ところが自分の品
物とは夢にも知らぬ同社
長は大喜びにその品物を
買つていた事實を町署に
舉つた五人連の自供で知
り目をシロクロ……

皆が樂しめる
娛樂館新設
大衆的娯楽には映画、競輪
競馬、ビンゴ、麻雀など數
種ぐ中小企業の資金難が
多くありそれへの特異性
生んだ喜劇「コマ」、茨城
県多賀町の某商店で五名
の雇人に對しナニやカニ
やと理由をつけ、二月間
も給料不拂を續けた、大
ファンガイの五人連樂あれ
ば苦ありと社長の品物を
リレー式に盗むこと三十
九回、ところが自分の品
物とは夢にも知らぬ同社
長は大喜びにその品物を
買つていた事實を町署に
舉つた五人連の自供で知
り目をシロクロ……

ニユース

製菓原料及器具
支那竹楓水入荷
甘味剤及色素
各種香料
喫茶材料
註文洋服を始めました

株式会社サトーホム

平出張所

平市一丁目二

(富士食堂横二軒目)

なんと言つても
カクゼン
酒は……鶴仙
松吉屋酒造吟醸

正一合通付
アサヒビール
銘酒鶴仙
特約壽司

平驛前
電三五八番

萬年筆特許
魁文堂

ライトイソキ
外國製品にも
劣らぬ品質!

川徳事業部
★土木建築請負★
福島縣知事登録(イ)十九
平市四丁目(東邦銀行前)電九三

鈴藤

洋服・洋品・服地
三組洋服・男女オーバー

造ります

良品格安の店を

仕入先の信用が

皆様の御要望により

註文洋服を始めました



木炭より安く
特殊棒炭

平市才穂小路裁判所下
近納商店

棒炭工場

皆様の食堂
不二屋が
自信を持つて

長持ちする

平市鍛冶町 電九七〇

川徳事業部
通なら御承知
當地下始めての

平市鍛冶町 電九七〇

万年筆特許

魁文堂

皆様の食堂
不二屋が
自信を持つて

長持ちする

平市中央通り
電話八八六番

万年筆特許

魁文堂

万年筆特許

魁文堂

美味料理★
大サービスする
豚牛なべ
迅速前出
御用命は
電886番
世界館入口
(不二屋階上)

平市本年度分市管住宅
設第二次工事は下河原九棟
十五戸、鎌田七棟十三戸を

月末完成の豫定である、な

今月中旬から着工、明年二

年賀状

丸山印刷所

白銀町(隣前)

一般印刷

年賀状

年賀